

中四国広域物流センターは、メーカーとJA・農家組合員とを結ぶ農薬の中央物流拠点です！

本会は、JAの農家対応を支援する事業の構築、および連合会機能の発揮によるスケールメリットの最大化をめざしています。中四国広域物流センター設置は、その一環の取り組みであり、JAグループの物流コスト低減と農家戸配送の効率化を支援するための機能を備えた中四国地区の農薬中央物流拠点です。さらには、広域物流体制を背景として、JAグループが結集し、広域購買による購買力強化をめざし、農家組合員の負託に応えてまいります。

中四国広域物流センター稼働による効果

効果01 調達物流コストの削減

農薬メーカーへの一括発注と工場からの集約配送により調達物流コストを削減

効果02 県域における合理化

広域物流センターに物流施設を統廃合し、県域拠点は農家戸配送機能を強化

効果03 在庫の圧縮

分散していた農薬在庫を集約し、出荷元別・有効年限別管理によって在庫圧縮と期限切れ農薬を抑制

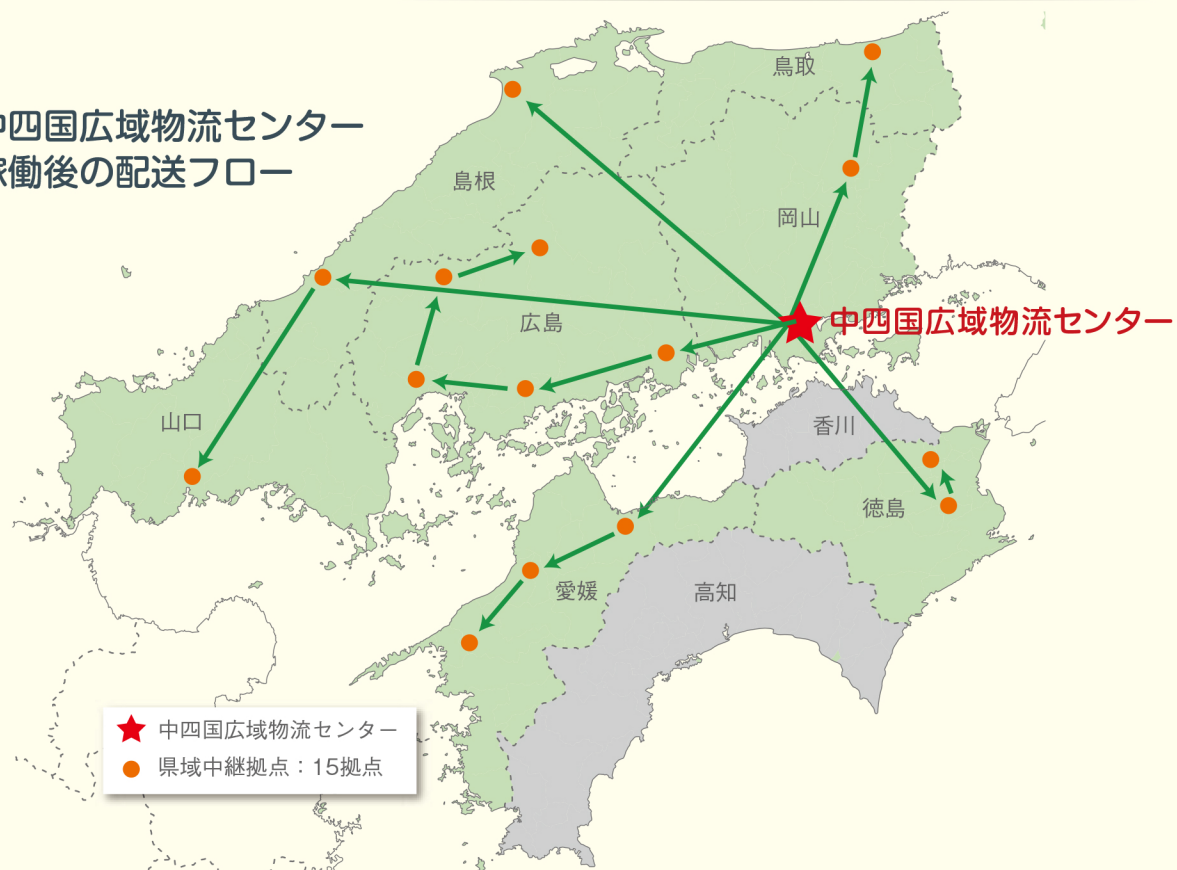
効果04 広域購買による購買力強化

県別購買からブロック域（広域）の需要を結集してスケールメリットによる購買力を強化

効果05 システムによる業務効率化

ブロック域対応の物流管理システム・受発注センターシステムによるJA・全農の受発注・物流管理業務を効率化

中四国広域物流センター稼働後の配送フロー



中四国広域物流センター稼働前後の物流フロー図

